

STEP1 活動をはじめる前、 はじめてすぐの段階

（人づくり）
自主的な活動の支援

（人づくり）
キーパーソン（≒コー
ディネーター、つなぎ
役など）の育成

（きっかけづくり）
キーパーソンの存在

（きっかけづくり）
主体的に動く、良いこ
と、面白いことが起きる
ことを知ってもらう。

（きっかけづくり）
行政主体でない窓口を
つくる。

（きっかけづくり）
多くの場合、知人から
の口コミがきっかけとな
る。

（活動時のポイント）
無理せずに行えること
から始める。

（活動の場づくり）
一人で気軽に入れる
公共施設へ

（わかりやすい情報提
供）
場所、プロセスの工夫

（わかりやすい情報提
供）
資料作成の工夫

（地域の課題解決に向
けた取組み）
外部ネットワークとの接
続

（地域の課題解決に向
けた取組み）
空き家の増加などの地
域課題を市民同士で
解決していく仕組みが
ある。

（地域の課題解決に向
けた取組み）
地域への市民参画の
推進

（地域の課題解決に向
けた取組み）
地域において支援を必
要とする方への支援

（財政面での支援）
物品販売等の許可

（協働）
適切な役割分担

STEP2 活動している段階

（活動の場づくり）
市民参画を柱とした
公共スペースの活用

（活動時のポイント）
市民同士で話し合って
ルールを作る。参加の
ためのルールを守る。

（活動の場づくり）
多摩市の魅力を活か
したイベントの開催

（協働）
市民のアイデアと行政
のノウハウを重層的に
組み合わせる。

（協働）
市民目線で協働手法
の見直し
（委託事業の検証、知
的財産の保障など）

（協働）
お互いの違いを認識
し、尊重した上で、同じ
目標に向かって一緒に
行動する。

（市民活動の価値）
付加価値が生まれる。

（市民活動の価値）
多様化・複雑化するニ
ーズへのきめ細やかな
対応ができる。

（組織をめぐる課題）
地域課題に対して市民
がどう関わるべきか。そ
の手段が組織か、もう
少し柔軟なものか。

STEP3 活動が広がっていく段階

（組織をめぐる課題）
サイレントマジョリティへ
の配慮

（組織をめぐる課題）
横のつながり、色々な
団体と関わることで、多
面的に広がり、どんど
ん活動が連鎖していく。

（協働）
行政の施策が進んだこ
とに満足するのではなく、
市民の動きがの推
進の状況が重要。

1. はじめに

（自治とは？）
制度と現状のギャップ
を解消すること。制度
上の壁を崩して、市民
ニーズに合ったものに
作り替えていくこと。時
代によって手法を変化
させていくことが重要で
ある。

（自治とは？）
何かあったときに部分
的に繋がってそこに行
けばいいというような、
柔軟な人の繋がりがベ
ースにある。

（自治とは？）
人と関わり合い、人のた
めに気付きあい、共に
育ち合うこと。違うもの
を包み込み、互いに刺
激し合えるもの。単にリ
ーダーシップを発揮す
ることではない。

（自治とは？）
行政に頼るのではなく、
市民同士でルールをつ
くり、解決できる仕組み
があること。また、解決
事例を増やし、市民同
士で共有していくこと。

